

市政を問う

一般質問は23人の議員により4日間にわたって行われました。産業政策や第9期介護保険事業計画、物価高騰対策など広範囲な市政課題について質問がありました。



鈴木 聖子
(公明党)

ひきこもりへの支援

問 ひきこもり当事者とその家族や支援者からの切なる願いをどのように受け止めるか。

答 それぞれに寄り添った多種多様な支援が必要だと認識している。当事者の方々が抱えている課題の解消に向け、ひきこもりの専門相談窓口の設置など、支援の充実を検討する。

社会的養護経験者への支援

問 社会的養護経験者へのこれまでの支援内容は。また、課題と今後取り組むべきことは。

答 青少年相談員などによる相談や関係機関と連携した支援に取り組んでいるが、ニーズなどの把握が十分ではないと認識している。必要な時に支援につなげる相談体制の充実に努める。

このほかの質問

- ・県独自の教育振興運動
- ・子どもの権利を守り安心安全に暮らせるまちづくり



高橋 和夫
(日本共産党市議員)

公民館での飲食に関する規定

問 市内農村部では、近隣に祝賀会会場がないことが問題だが、飲食を伴う祝賀会を公民館で開催できなかった事例がある。公民館では飲食禁止の規定があるのか。

答 特段の定めはないが、飲酒を伴う集会や行事は、地域性を考慮し館長が定めている。

県北バスの好摩駅前乗り入れ

問 沼宮内発盛岡バスセンター行きのバスを、好摩駅前経由の経路に変更できないか。

答 バス事業者から、乗り入れには一定の需要が必要であり、経路変更は難しいと聞いているが、策定中の計画の協議において、既存バス路線との接続について事業者と検討する。

このほかの質問

- ・学校の体育館の飲食禁止の規定



さんさの街として強力にPRを

さんさの街としてのPR

問 ニューヨーク・タイムズ紙効果を継続していくためには、盛岡を「さんさの街」として強力にPRしていくことが効果的では。

答 さんさ踊りを通年型・体験型の観光コンテンツとして事業を拡充するなど、盛岡といえはさんさの街とイメージされるように取り組む。

小学生の外国語の教科化

問 中学3年生の全国学力テストの英語の結果が前回4年前より低下しているのは、小学生の外国語の教科化が裏目に出た結果では。

答 前回に比べ出題の内容や難易度も大きく変わったことから単純に比較することはできないが、授業レベルでの改善に取り組む。



菊田 隆
(盛友会)

このほかの質問

- ・盛岡三大麺のさらなる普及促進
- ・ひきこもりの現状と支援センターの開設



千葉 順子
(盛友会)

産業政策の現状と課題

問 産業全体を俯瞰した振興策が必要だと考えるが、産業政策の現状と課題は。

答 業種や分野別に計画などを策定することで産業振興を図ってきた。特徴に応じたきめ細かな施策が展開できる一方、産業全体を見据えた施策を展開しにくいなどの課題がある。

在宅医療のプロジェクトチーム

問 現在進めている在宅医療と介護を連携させたプロジェクトチームの今後の取り組みは。

答 課題を分析し、市医師会などと協議を重ね、多職種協働による連携体制の構築や住民への普及啓発などに取り組み、地域に寄り添った在宅医療の提供体制の実現に向け取り組む。

このほかの質問

- ・中小企業支援のための国の補助事業活用における市の役割

議員報酬と市長給料の条例提案

問 議員報酬と市長給料について、特別職報酬等審議会で意見を聞き条例提案すべきでは。

答 今回、県などの改定状況を総合的に判断し、改定にかかる条例提案は行わないこととした。今後、改定しようとする場合は、原則、公開により開催される審議会で意見を伺う。

特別職からのハラスメント

問 他都市では、職員アンケートにより特別職からのハラスメント事例が明らかとなっている。本市でも職員アンケートを実施すべきでは。

答 市職員のハラスメント防止等に関する要綱を策定し相談員などを配置しているが、相談が無い場合、アンケートの実施は考えていない。



佐藤 尚弘
(日本維新の会)

このほかの質問

- ・アセットマネジメントの状況
- ・児童館・児童センターの機能移転の状況



小笠原 秀夫
(盛友会)

いわぎんスタジアム改修計画

問 いわぎんスタジアム協議委員会からの要望書などを踏まえた改修計画への見解は。

答 いわてグルージャ盛岡の活躍は地域活性化などにつながるが、改修費用の財源確保などが課題であり、いわてグルージャ盛岡や県などの関係機関と意見交換を行い、検討を進める。

水道事業の官民連携と広域化

問 本市の水道事業は直営を基本としているが、民間との連携や広域化への今後の方向性は。

答 直営を基本に信頼される持続可能な事業運営を目指す。また、県水道広域化推進プランに基づく盛岡広域ブロック検討会の取り組みなどを通じ、広域化の在り方を検討する。

このほかの質問

- ・いじめゼロに向けた相談窓口体制
- ・岩手ビッグブルズの現状
- ・スポーツ支援



庄子 春治
(日本共産党市議員)

自衛隊への氏名などの提供

問 プライバシーなどの観点から、自衛隊への個人情報の提供は中止すべきでは。

答 法令上問題ないと判断して提供しているが、自衛官募集案内の送付を望まない方への配慮も必要であることから、今後、他都市の状況などを調査し、提供除外について検討を進める。

中央公民館文化財等保存計画

問 中央公民館にある歴史的な文化財の保存計画が4年度に策定されたが概要は。

答 中央公民館にある歴史的建造物や景勝の保存・活用に向けて計画的に取り組むため、5年度からの10年間を計画期間として4年11月に策定した計画である。

このほかの質問

- ・小学校給食費の無償化
- ・見前地区公民館の陶芸窯の状況と今後の対応



細川 由香里
(れいわ from2 もりおか)

潜在保育士の掘り起こし

問 保育士の待遇改善による潜在保育士の掘り起こしを行っては。

答 市独自の処遇改善などの支援に取り組んでいるが、潜在保育士の掘り起こしにつながる賃金改善などの支援には財源の課題がある。今後も潜在保育士の就労に向けた支援に取り組む。

公用車の維持費用

問 市が所有する公用車の定期的なメンテナンスや車検など、公用車を維持するための年額費用は。

答 4年度は、車検などの法定点検、車両の修理、タイヤや消耗品などの購入費を含めると6778万5千円である。

このほかの質問

- ・災害時の公用電気自動車の活用
- ・新市庁舎整備工リア選定の住民投票



縄手 豊子
(れいわ from2 もりおか)

子育て世帯に対する取り組み

問 子育て世帯から挙げられた困りごとや課題に対する市の取り組みとその効果は。

答 経済的な苦しさや遊び場の充実が挙げられたことから、保育料の軽減や児童センターの整備などニーズに対応した取り組みを進め、放課後児童クラブの利用促進などの成果があった。

不登校対策

問 校内フリースペースの設置などに取り組む自治体があるが、本市でも子どもがのびのび取り組める環境づくりが必要では。

答 校内外に教育支援センターを設置し児童生徒のニーズに応じた取り組みを行っている。今後も多様な教育環境の整備を進める。

このほかの質問

- ・定員割れ保育施設への補助金
- ・保育所入所選考の制度見直し



中村 雅幸
(市政クラブ)

市空き家等バンク制度の状況

問 市の世帯数と市内の住居総数を比較すると住宅が余っている状態だが、市空き家等バンク制度の登録状況と利用状況は。

答 5年11月30日現在で、登録物件2件、利用希望登録者32人であり、平成24年12月の制度開始から、合計で10件の活用が図られている。

盛岡城に関する資料収集の状況

問 現在までの、盛岡城に関する資料収集の状況と今後の見通しは。

答 懸賞金制度により115点の情報提供があり、市内外の民家などの調査を実施しているが、復元の根拠となるような史資料の発見には至っていない。引き続き調査研究を継続する。

このほかの質問

- ・教職員の働き方
- ・地域ボランティアとの連携
- ・教職員の時間外勤務の短縮



三田村 亜美子
(日本共産党市議団)

女性非正規職員の賃金と待遇改善

問 市の男性正規職員の賃金を100とした場合の女性非正規職員の賃金や処遇改善の状況は。

答 男性正規職員の賃金100に対し、4年度の女性非正規職員の賃金は31である。また、産前・産後休暇など一部の休暇を有給とするなど就労環境の改善に取り組んでいる。

不登校増加の背景と方策

問 爆発的ともいえる不登校増加の背景と問題解決のための方策は。

答 子どもを取り巻く環境の急激な変化によるストレスなどが挙げられる。要因や背景は多様・複雑であり、関係機関との連携協力などによる支援の充実を図ることが必要である。

このほかの質問

- ・松園地区活動センター大規模改修の現在の状況
- ・松園地域の要望への対応



盛岡城関連資料の収集



道路の穴ぼこの補修を



伊勢 志穂
(市政クラブ)

道路の穴ぼこ補修

問 希望する町内会にアスファルト補修材を配布し、道路補修を市民協働で行っては。

答 補修の協力の申し出があった町内会には、安全対策を講じることを条件に配布している。積極的な案内はしていないが、町内会などから相談があった場合は、可能な範囲で対応する。

ファミリーサポートセンター

問 市ファミリーサポートセンターの子育ての援助を提供する会員が不足していると聞かすが、増やすための支援内容とその効果は。

答 市ホームページなどで事業や活動内容を周知しているが、会員は年々減少している。他都市の取り組みを参考にするなど確保に努める。

このほかの質問

- ・保育所民営化計画変更の有無
- ・いじめ相談窓口
- ・重層的支援体制整備事業



池野 直友
(公明党)

教員確保の特色ある取り組み

問 市立高校の教員志望の生徒に行っている、他校にはない魅力ある取り組みの詳細は。

答 進学インターンシップ事業として小中学校を訪問し、教員を目指す上でのアドバイスを受けたほか、大学院生とのグループ協議やインターンシップの振り返りなどを行った。

市長の率直な思い

問 多くの市民に注目され、市政運営に苦慮していると思うが、市長の現在の率直な思いは。

答 市民などの声は、市政運営への思いを前向きにする効果がある。市民の声に耳と心を傾け、今の自分にしかできないことがあるとの一心で、スピード感を大切に職務に当たっている。

このほかの質問

- ・食物アレルギーに対応した給食の提供状況
- ・水道管の漏水調査



鈴木 努
(日本共産党市議団)

第9期介護保険事業計画

問 第9期介護保険事業計画における介護職員の確保と職場定着の取り組みは。

答 介護事業者に、幅広い人材が活躍できるような取り組みへの支援や、奨学金返還支援事業や研修事業を通じた支援をするとともに、関係者の声を聴きながら施策の向上に努める。

本市の農業の現状と展望

問 農家の高齢化が進んでいるが、本市の農業の現状と展望についての所見は。

答 本市の産業で農業の割合は3%程度だが、食料と地域を支える重要な分野と認識している。持続可能な力強い農業を将来にわたって実現し、魅力的な成長分野となるよう取り組む。

このほかの質問

- ・介護職員の賃金引き上げの必要性
- ・国の施設との災害協定締結に向けた取り組み

市政を問う



神部 伸也
(日本共産党市議員)

インフルエンザ予防接種助成事業

問 進学など人生の大きな岐路に立つ高校3年生まで予防接種の助成を拡大するべきでは。
答 現在は中学生までが対象だが、予防接種の集団生活における重症化防止効果などの観点から踏まえ、他の任意接種ワクチンとも総合的に検討し、他都市の例を参考に継続して研究する。

このほかの質問

- ・国民健康保険の保険料水準の統一についての所見
- ・市内経済状況の認識と今後の対応

特別教室のエアコン整備

問 特別教室のエアコン設置について6年度予算に反映させてもらいたいが検討状況は。
答 移動可能な空調機器の導入や、エアコンを導入する際の整備手法について検討している。財源の確保が課題であるが、教育環境改善のために取り組む。



山崎 智樹
(盛友会)

情報発信に関する指標の必要性

問 さまざまな世代の市民参画を促進するために、市総合計画に情報発信に関する世代ごとの指標を設定しては。
答 各世代に市政情報が届いているか数値化して把握することは重要であり、次期総合計画で世代ごとの指標を設定することを検討する。

このほかの質問

- ・中学生対象のシティプロモーション出前講座の実施
- ・世代別の認知症支援体制

統合型校務支援システム

問 教員の長時間勤務の解消と教育の質の維持向上を図るために、統合型校務支援システムは有効と考えるが、導入に向けた検討状況は。
答 都道府県単位での共同運用を進めており、業務の引き継ぎに要する時間軽減などが図られる。7年4月導入に向けて取り組んでいる。



予防接種助成の対象拡大を

◆用語解説

パンデミック条約 (通称)

パンデミックの予防、備えおよび対応に関するWHOの新たな法的文書。新型コロナウイルス感染症が世界各国で甚大な被害を及ぼしたことを踏まえ、健康危機への対応能力の構築・強化が議論され、作成に向けた交渉を行うことが決定された。6年5月の採択を目指し作業が進められている。(外務省ホームページより作成)



豊村 徹也
(創盛会)

パンデミック条約

問 ワクチン接種に対する慎重な対応のためにも危険極まりないパンデミック条約の締結に対して、地方から反対の声をあげるべきでは。
答 条約については、未来のパンデミックに備えた対応など、さまざまな検討が行われている。今後もWHOや国の動向を注視する。

このほかの質問

- ・第9期介護保険事業計画での実態に対応した対策
- ・側溝清掃の具体的な計画の策定

J R山田線の存廃問題

問 J R 地方路線の存廃問題の報道が増えているが、市はJ R 山田線に対するJ R 東日本の動向をどのように捉えているのか。
答 持続可能なサービス提供が困難な状況にある区間は、再構築協議会の組織を国土交通大臣に要請できるが、要請するとは聞いていない。



寺長根 浩
(創盛会)

有害鳥獣被害対策

問 農家の高齢化と人手不足が深刻化し、有害鳥獣対策に取り組む余力がない。対策のプロを養成するなどの予算措置を強化すべきでは。
答 鳥獣被害対策専門員の配置やICTを活用した対策の強化など、国や民間の動向を注視しながら重層的に取り組みを強化する。

このほかの質問

- ・有害鳥獣による農作物被害額
- ・遺伝子組み換え食品の輸入についての認識

輸入食品で使われる農薬の規制

問 世界的に使用規制が強化されている農薬を使用した食品が輸入されているが、所見は。
答 国が食品健康影響評価を行い、食品への残留基準を設定している。国の基準に基づき検疫所で検査や指導を行い、輸入食品の安全性を確保している。



櫻 裕子
(盛友会)

風致地区の見直し

問 初めて指定された当時から社会情勢が変化し、市民から見直しの声もある風致地区について、区別や種別内容を見直す考えはあるか。
答 現在の都市計画を維持するべきだが、指定から時間が経過し土地利用に変化があるため、現状の把握や調査をし、見直しを検討する。

このほかの質問

- ・地域活動のデジタル化
- ・マンションと町内会の今後の在り方

町内会の担い手確保と負担軽減策

問 町内会は加入率低下などの課題があるが、担い手確保や役員の負担軽減策についてどのように取り組むのか。
答 町内会を対象に担い手養成講座や、補助金申請の簡素化などを行ってきた。今後も継続しながら、他市を参考に新たな方策も検討する。



鈴木 真吾
(盛友会)

インクルーシブ公園の実現

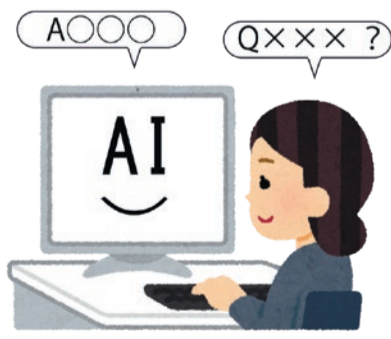
問 障がいの有無などにかかわらず遊べるインクルーシブ公園は、これから社会に出る子どもたちを後押しするが、実現への所見は。
答 新たな整備や遊具の更新を予定している公園は、関係町内会などと相談のうえ、インクルーシブの趣旨を踏まえ、整備に取り組む。

このほかの質問

- ・公園の利活用
- ・部活動の地域移行に向けた施策
- ・管理不全空き家の把握方法

チャットGPTなどの導入

問 業務の効率化にはチャットGPTなどの生成AIの導入が必要不可欠だが、所見は。
答 業務の効率化が図られる一方、生成された文章の著作権の問題などが課題である。活用に向け、セキュリティを考慮した利用環境の構築を検討しており、利用ルールも必要である。



◆用語解説

風致地区

都市の自然美を維持・保存するため、都市計画区域内(準都市計画区域内を含む)で自然と一体となり良好な環境の形成が望まれる地区で、自然の保全や創出を図りつつ、建物などの開発内容に規制を行うことで、良好な都市環境の形成を図る制度。市では高松地区内と山王地区内が指定されている。(市ホームページより作成)

※一般質問の録画映像を配信しています。
スマートフォン・タブレット端末でも視聴できます。



会派の意見

本会議において、各会派が市長提出議案などに対して意見を述べた討論が行われました。各会派の討論の要旨をお知らせします。
★すべての議案番号と議案名は、8ページに一覧表として掲載しています。



村田 芳三
(盛友会)

このほかの質問
・自転車走行時の
児童・生徒のヘル
メット着用義務化
・GIGAスкуль
構想の実現

自転車保険の加入義務化

問 高額な損害額を伴う自転車事故が発生しているが、自転車保険加入を義務化すべきでは。

答 自転車保険の加入を努力義務として、さまざまな機会に保険の加入促進を行ってきた。国は都道府県に保険加入を義務付ける条例の制定を促進しており、義務化の必要性を検討する。

GIGAスクール構想による問題

問 GIGAスクール構想による児童・生徒への端末整備により、SNSなどでのいじめが起きる可能性があると考えが、対策は。

答 SNSに関するトラブルへの法務相談について、5年4月からスクールロイヤー制度を導入し対応している。

盛友会

全議案に賛成

議案第115号から議案第193号までは、指定管理者制度について、制度導入から17年が経過する中で非公募施設が大半を占め、公募であっても1団体だけの申請が多数という現状から、制度導入の効果が十分に得られていないのではと危惧する。制度の主旨である民間の能力を活用しつつ、住民サービスの向上が図られるよう取り組まれない。議案第212号は、観光客誘致宣伝事業について、市の冬季観光客数の増加に向けて、効果的なPR手法として冬の市プロモーション動画を作成し、さまざまな場面で活用されたい。



太田 隆司
(公明党)

このほかの質問
・国の総合経済対
策の内容
・持続的な賃上げ
に向けた中小企業
支援策

物価高騰対策

問 物価高騰対策として、住民税非課税世帯に7万円を支給することだが、支給開始の時期は。

答 支給決定には対象世帯の振込口座の確認や受給の意思確認などが必要であり、一定期間を要するため6年1月下旬を見込んでいる。

観光の推進

問 観光はあらゆる産業と関連が深い総合産業である。本市の経済を向上させるために、観光をどのように推進していくのか。

答 誘客につながる効果的なプロモーションの展開や観光客の受け入れ態勢の整備など、関係団体などと協力し市内経済の向上に努める。

創盛会

全議案に賛成

議案第107号は、冬季間の路面パトロールや除排雪費用が計上されており、除雪の早さと細やかさが例年とは違う冬を体感できることを期待する。議案第115号から議案第193号までは、人件費や冷暖房費など、物価上昇分を上乗せした指定管理料を設定し、複数の運営希望者が競合する状況が望ましいと考える。議案第212号は、住民税非課税世帯への助成金などの手続きを簡素化し、速やかに市民に届けることを願う。物価高騰の影響を受けているのは全ての市民であるため、全ての世帯への支援を検討されたい。

日本共産党市議団

一部議案に反対

議案第212号は、これまで繰り返し求めてきた住宅リフォーム支援事業について500件分の予算を計上したことに加え、省エネ対応分として、支給額を通常分の補助額の1.5倍となる9万円に増額して100件分を予算化したことを評価する。市民などに周知して効果が上がるよう、庁内で連携しながら取り組むことを求める。議案第213号は、会計年度任用職員の期末手当の支給割合よりも市議会議員の支給割合がより引き上げられるが、格差に対する明確な根拠も示されず、市民の理解を得られないことから反対する。

市政クラブ

全議案に賛成

議案第107号は、道路除排雪事業について、除排雪に係るパトロールを含めきめ細かな取り組みであり一定の評価をするが、道路の白線の引き直しや穴ばこの補修など、市民の日常生活の安定に力点を置くことも重要である。市民の安全を守るため、市道の適正な維持管理に努められたい。議案第212号は、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金による住民税非課税世帯への7万円の支給を年内に間に合わせるために、市独自の取り組みを検討するべきであったと考える。今後、同様の支援策が国から示された場合は、迅速で柔軟な対応を求める。

公明党

全議案に賛成

議案第107号は、2億9604万3000円を増額補正しており、道路除排雪事業について、路面パトロールの強化とそれに伴う追加除雪および排雪を実施する費用が計上されている。4年度は、市民からの除排雪に対する不満や苦情が2000件以上も寄せられている。市長は、市民の要望に応え、迅速で適切な作業につなげるために市民や関係者と意見交換を行っている。地域や降雪状況により除排雪に最適解を導き出すのは難しい問題であるが、今回の事業検証をしっかりと行い、市民の求める除排雪に今後も取り組まれない。



観光の推進で市内経済向上を



照明のLED化の促進を



浅沼 克人
(盛友会)

このほかの質問
・猟友会への支援
・入札制度などに
おける地域貢献企
業への優遇策

クマの出没件数と人身被害件数

問 5年度の市内でのツキノワグマの出没件数と盛岡広域における人身被害の件数は。

答 11月末時点で290件であり、4年度132件、3年度162件と比較すると多く出没している。人身被害の件数は、12月2日時点で市ではゼロ件で盛岡広域では15件である。

公共施設などの照明のLED化

問 公共施設、学校施設、体育施設や道路街路灯などの照明LED化の現状は。

答 市有建築物の5年9月末時点の導入率は約37.2%である。5年度末までに道路照明灯は盛岡、都南地域が約18%、玉山地域が約28%、公園緑地は約35%がLED化の見込みである。